

令和 2 年度 墨田区立中和小学校 経営報告書

令和 3 年 3 月 8 日

学 校 目 標	教職員、保護者、地域社会が一体となって推進する満足度の高い学校 (確かな学力の保障・豊かな社会性)
目 指 す 学 校 像	保護者・地域から信頼され、安心して子供を預けられ地域の学舎として誇られる学校
目 指 す 子 供 像	挨拶ができ、友達と仲良く学校生活を送り、「中和小学校」で学べて良かったと誇りに思える子供
目 指 す 教 師 像	子供の豊かな学びを大切にしながら、自らも教師修行に励む教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	基礎基本の学習は定着している。落ちついた学習環境の中で、効果的に ICT 機器を活用して興味関心を高めた授業の展開を模索していく。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	組織的な支援体制はできている。周りの児童の温かく見守る姿も見られる。今後は一人一人に合った支援を追求していく。	A	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	本校は自己肯定感の高い児童が多い。学校行事では、目標を掲げて成功体験を積み、将来の夢や目標に向かう姿につなげる。	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	講演「読解力の育成」、5 回の研究授業、夏季休業時の模擬授業、研究授業事前検討会、外国語研修会、ゲスト教員によるロング OJT など、コロナ禍だからこそその取組を実施。今後も教科指導、学級経営の基本を研鑽していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		タブレットを使った職業調べやプレゼンなど、将来を見据えた授業はよかった。先生方が力を合わせ努力していることに感銘している。自主性をもち、学習が楽しめるよう家庭でもサポートしていきたい。児童が成長しており、素晴らしいと感じている。		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	現在いじめは 0 である。児童の困り感は年 3 回の調査で把握。小さなトラブルの段階で、担当委員会が早期に解決を図っている。学校内で情報を共有し、事前指導を行う。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	家庭と連携した基本的な生活習慣の振り返り、週目標の具現化及び課題であるきまりの徹底を継続。公民的資質（みんなの中で生きていける知恵）の育成を図る。	B	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	コロナ感染症防止策（環境整備・健康管理・心のケア・新生活様式の徹底など）の強化、天災想定した避難訓練、登校の見守り、防犯ブザー所持確認など、児童の安全への意識向上を図る。自助から共助への安全指導を行う。	A	A

様式4

	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	保護者の意見や要望は真摯に受け止め、児童にとってよりよい教育活動を追求する。早期対応、事実確認、保護者への連絡等、学校体制を確立し対応する。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	中和の子供たちから元気をもたらしている。心の教育は学力以上に大切であり、学校生活で様々な学びを得てほしい。子供からの要望でできることはすぐに対応する姿勢は大変評価できる。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	教職員の「チーム中和」という意識を高め、若手教員の活躍の場、教え合いの活性化を図り、教師力を伸ばす学校を目指す。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	A	各行事ではPACDによる過程を通して改善策を練り実施する。児童の実態を見取り、事前の授業計画、日々の授業改善を重視する。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	昨年同様、児童数増加により余裕教室がない。全教職員による環境整備を行い有効に活用する。今後も学び舎に相応しい明るく人に優しい環境をつくる。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	「チーム中和」、かげながら応援している。ますますご尽力を願う。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	A	学校便りの内容を精選し、重複文書をなくす。情報メールやHPに掲載し、何時でも確認できるようにする。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	コロナ禍においても、できる限りの「学校・保護者・地域の三位一体の教育活動」を推進していく。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等	学校便り、学年便りで子供たちの様子を伝えることをこまめに行っていたのは評価できるが、実際に見ることができなかったのは残念であった。			

2 令和2年度学校評価のまとめ

○コロナ禍のもと、学校便りを町会内回覧として情報をいただいた。学校の様子がわかり、地域・町内の方は嬉しく思っている。

○コロナ禍、時代の変化に対応していただき有り難い。保護者として地域の一員として、先生方に感謝している。子供たちの健全育成のためにご尽力くださる先生方に今後も協力していきたい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立中和小学校 学校長 寺崎 康子